|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **令和５年度三好市職員採用試験　受験申込書**  **（保育士・幼稚園教諭）** | | | | | | | | | | | ※受付印 |
| 1 試験区分 | | | | | | | ※受験番号 | | | | |  |
| **保育士・幼稚園教諭** | | | | | | | **－** | | | | |
| 2 氏　名（ふりがな） | | | | | | | 3 生年月日・性別  昭和　　　　　　　　　　　　　男　女  平成　 年　 月　 日生 | | | | | |
|  | | | | | | |
| 令和６年４月１日現在の年齢（満　 　 歳） | | | | | |
| 4 現住所（ふりがな） | | |  | | | | | | | | | |
| （〒　　　－　　　） | | |  | | | | | | | | | |
|  | | | （　　　　　　　　方）　電話番号　自宅　携帯（　　 　） 　　－ | | | | | | | | | |
| 5 不在時連絡先  （〒　　　－　　　） | | | （帰省先等） | | | | | | | | | |
|  | | | （　　　　　　　　方）　電話番号　自宅　携帯（　　 　） 　　－ | | | | | | | | | |
| 6 学歴（最近の学歴2つについて記入してください。） | | | | | | | | | | | | |
| 学 校 名 | | 学部・学科名 | | | 所在地（市町村名まで） | | | | 在学期間（和暦） | | | 修 学 区 分 |
| 最終（現在） | |  | | |  | | | | 年　　 月から  年 　月まで | | | 卒　業　卒業見込  在学中（　　　　年次）  中　退（　　　　年次） |
| その前 | |  | | |  | | | | 年 　 月から  年 　月まで | | | 卒　業  中　退　（　　　年次） |
| 7 職歴（最近の職歴２つについて記入してください。）※アルバイト等は除きます。 | | | | | | | | | | | | |
| 会社名等 | | | | 所在地（市町村名まで） | | 在職期間（和暦） | | | | 職務の内容等 | | |
| 最終（現在） | | | |  | | 年 　 月から  年 　月まで | | | |  | | |
|  | | | |  | | 年 　 月から  年 　月まで | | | |  | | |
| 8 免許・資格・検定等（この受験に必要な資格・免許は必ず書き、取得見込も記入してください。） | | | | | | | | | | | | |
| 名　　称 | | | | | | | | 取得（見込）年月日（和暦） | | | | |
|  | | | | | | | | 年 　 月 | | | 取得　取得見込 | |
|  | | | | | | | | 年 　 月 | | | 取得　取得見込 | |
|  | | | | | | | | 年　 　 月 | | | 取得　取得見込 | |
| 私は、地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しておりません。  　また、この申込書に記載したすべての事項について相違ありません。  　　年　　　月　　　日  氏名（自筆） | | | | | | | | | | | | |

|  |
| --- |
| **受験申込書記入上の注意**  １　申込書をよく読んで※印以外の欄にもれなく記入してください。  ２　記入は、すべて本人の自筆により黒又は青のインクかボールペンを用い、かい書でていねいに記入してください。  ３　記載事項に不正があると採用される資格を失うことがあります。  ４　□印の中には、該当するところに“レ”印をつけてください。  ５　｢８ 免許、資格、検定等｣の箇所には、希望試験区分に必要な資格等についての状況は必ず記入してください。  ※免許、資格等は、採用日時点で有効なものに限ります。  ６　郵便で申し込む場合には、同時に提出する受験票に63円切手を忘れずに貼り付けてください。  ７　記載内容を訂正する場合は、訂正箇所に横線２本線を引き、正しく記入し直してください。  ８　最終欄には、必ず署名してください。  ９　身体の障害などのため、試験会場に何らかの配慮（試験当日に車いすの使用を希望するなど）を必要とされる方は、事前に申し出てください。  地方公務員法第16条（欠格条項）   1. 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者 2. 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から２年を経過しない者 3. 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者 |